

【美術】

美 術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術
116	日 文	美術

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方及び具体例
		② 作品の理解を深めるための工夫	基礎的な技法や知識などに関する記載
		③ 日本の美術文化に関する内容	題材名及び掲載作品
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例
		⑤ 生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	生活や社会における美術の働きを示す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	題材数及び構成や配列
		⑦ 掲載している作品等の数	サイズを明記している参考作品の数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 折り込みページの活用及び大型図版の掲載	折り込みページの内容及び大型図版
(オ)	言語活動の充実	⑨ 言語を用いた発想・構想の工夫	発想・構想段階における言語活動の示し方及び具体例
		⑩ 鑑賞の仕方の工夫	鑑賞の方法の示し方及び具体例

【美術】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方及び具体例

	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方	第1学年 自然を対象とする題材における具体例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材の末尾に、学習の目的を基にした自己評価(ふりかえり)の観点を「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点で色分けして示している。 ○ 題材名の下に、その題材での重点的な学習活動や、生徒に育てたい力を解説文で示している。 	題材名：「心ひかれる風景」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風景画のよさや美しさに関心をもちましたか。 ・ スケッチなどを通してどのような主題を構想しましたか。 ・ 色彩や構図を工夫し、季節や時間をどのように表しましたか。 ・ 作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しましたか。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の横に「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点到に沿った目標を示し、学習後に達成状況をチェックする欄を設けている。 ○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。 	題材名：「心安らぐ 私の風景」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きな風景を探してみよう。 ・ 風景のどこに心引かれたのか考えながら構想を練ろう。 ・ 鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描こう。 ・ 作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取ろう。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の横に、「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点到に沿った「学びのねらい」を、色分けしたマークとともに示している。 ○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。 	題材名：「なぜか気になる情景」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中で気になる場所やものなどを見つけ、その特徴をとらえて表すことに関心を持とう。 ・ 気になる場所から、表したい主題を明確にして表現の構想を練ろう。 ・ 表したい場所の範囲や画面の構成、奥行き感や色彩などを、工夫して表そう。 ・ 気になった場所を、どのように工夫して表現しているかを感じ取ろう。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②作品の理解を深めるための工夫
方法	基礎的な技法や知識などに関する記載

	学年	基礎的な技法や知識などに関する記載		
開隆堂	1	「パレットコーナー」 <ul style="list-style-type: none"> ○ パレットと筆洗を使う ・ 水彩絵の具を使って、絵の具と水の量を変えながら、描いてみよう。 ・ ポスターカラーを使って、混ぜる白の量を変えながら、描いてみよう。 ・ アクリル絵の具 ・ 筆の種類 	「工具箱」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 彫刻刀を使う ○ 電動糸のこぎりを使う ○ カッターナイフを使う ○ やすりを使う 	「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 色彩の種類 ・ 色の三要素（三属性） ・ 色相 ・ 明度 ・ 彩度 ○ 無彩色と有彩色 ○ 三原色と混色 ・ 色料の三原色と減法混色 ・ 光の三原色と加法混色 ○ 色の対比 ○ 補色 ○ 色の感じ ○ 色の膨張・収縮、進出・後退 ○ 色の視認性（見えやすい色の組み合わせ）
	2・3	「人の表現から見る美術の歴史」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本 ○ 中国 ○ エジプト ○ アジア ○ 西洋 		「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統色 ○ 西洋の伝統色 ○ 美しい日本の配色文化 ・ 襲の色目

【美術】

光 村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆やペンで描く <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆 ・色鉛筆 ・ペン, マーカー ・パステル ○ 絵の具で描く <ul style="list-style-type: none"> ・透明水彩絵の具 ・アクリルガッシュ ・ポスターカラー ○ さまざまな技法で描く ○ 文字をデザインする <ul style="list-style-type: none"> ・明朝体 ・ゴシック体 ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色と光の特徴を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統色 ・カラーハンティングをしに行こう ・朝の光と夕方の光の違い ・美術作品と照明 ・混色 ・対比 ・色の仕組みを知ろう ・有彩色に無彩色を混ぜてできる色 ・色の世界は三次元 ・色から受ける感じ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形と材料の特徴を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・形から受ける印象 ・構図と配置 ・紙 ・木 ・竹 ・土
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像メディアを活用する <ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・映像 ○ 金属や石でつくる <ul style="list-style-type: none"> ・針金でつくる ・金属板でつくる ・石でつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色と光の特徴を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・光と影の伝統芸能 ・照明による雰囲気の違い ・日本の伝統色 ・かさねの色目 ・日本の伝統色の顔料 ・色から受けるイメージ ・グラデーション ・見やすい色の組み合わせ ・色と形による錯視 ・色による残像現象 ・光と陰影の効果 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形と材料の特徴を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・自然の形を生かす ・遠近感をあらわす ・形による錯視 ・形の冒険 ・金属 ・ガラス ・布 ・石
日 文	1	<p>「表現や鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然界や身の回りにある形や色 <ul style="list-style-type: none"> ・花 ・野菜・果物 ・気象や自然現象 ・地表 ・動物の顔 ・動物の体 	<p>「技法の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆で描く ○ 水彩で描く ○ 遠近感を表す ○ モダンテクニック ○ 木版画 ○ 木工の技法 ○ 焼き物をつくる 	<p>「色彩の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色の広がり, 色の魅力 <ul style="list-style-type: none"> ・色光の三原色 ・色料の三原色 ・絵の具の混色と重色 ・無彩色と有彩色 ・色相環 ・補色 ・色の対比 ・色の感じ
	2・3上	<p>「鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちを彩るパブリックアート ○ 日本美術の展開と世界との交流 	<p>「技法の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現代に受けつがれる浮世絵版画 ○ 水墨画の技法 ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる ○ 金属でつくる 	<p>「色彩の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色について理解を深めよう <ul style="list-style-type: none"> ・配色 ・日本の伝統色
	2・3下	<p>「鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受けつぎつくる人の姿 ○ 文化財の保存と修復 <ul style="list-style-type: none"> ・東大寺南大門の金剛力士立像の修復 ○ アートを体験する場に出かけよう <ul style="list-style-type: none"> ・共同で作品を展示しよう ・美術館へ行こう 	<p>「技法や鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真撮影の第一歩 ○ コンピュータ・グラフィックスの表現 ○ アニメーションの表現 ○ 石を彫る ○ 織る ○ 仏像の種類 ○ 近代の建築 	

【美術】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③日本の美術文化に関する内容
方法	題材名及び掲載作品

	学年	題材名	掲載作品 ※生徒作品を除く。		
開隆堂	1	心ひかれる風景	・紙すき場【速水御舟】		
		比べてみよう	・東海道五十三次之内 庄野【歌川広重】		
		原寸ギャラリー	・樹花鳥獸図屏風【伊藤若冲】		
		材料を生かして	・両面透かしうちわ 陽光 ・津軽塗の重箱		
	2・3	他人と違うこと、他人と同じであること	・群青富士【横山大観】 ・富嶽三十六景 凱風快晴【葛飾北斎】 ・富士三十六景 駿河三保之松原【歌川広重】 ・富士山図屏風【谷文晁】 ・清水の富士【五姓田義松】 ・三十六富士【十里木秋雲】 ・山 富士山【片岡球子】		
		絵巻物の世界	・伴大納言絵巻 上巻 中巻 下巻 ・鳥獸人物戯画 甲巻 ・信貴山縁起絵巻 剣の護法 延喜加持の巻 (部分) ・石山寺縁起絵巻 二巻 (部分)		
		モノトーンの美しさ	・枯木鳴鶴図【宮本武蔵】 ・秋冬山水図 冬景図【雪舟等楊】 ・松林図屏風【長谷川等伯】		
		原寸ギャラリー	・桜図【長谷川久蔵】 ・楓図【長谷川等伯】		
		伝統の美に学ぶ	・八橋蒔絵硯箱【尾形光琳】 ・色絵紅葉図透彫反鉢【尾形乾山】 ・鶴下絵三十六歌仙和歌選 (本阿弥光悦書 俵屋宗達下絵) ・白綾地秋草模様小袖 (尾形光琳筆) ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】 ・紅白梅図屏風【尾形光琳】 ・夏秋草図屏風【酒井抱一】 ・黒き猫【菱田春草】		
		ゴッホと日本	・名所江戸百景 亀戸梅屋敷【歌川広重】		
		祈りの造形	・阿修羅像 ・阿弥陀如来坐像 ・雲中供養菩薩像 ・空也上人立像		
		木でつくる工芸	・栃杓拭漆手箱【黒田辰秋】		
		人がつくる、技を極める	・褐釉蟹貼付台付鉢【宮川香山】 ・伊勢えびの置物 ・白兔牙彫根付 ・鳥天狗木彫根付 ・名古屋山三郎絵巻 (伝 宮川春水) ・雉子沈金衣裳箱【前大峰】 ・黄色地松皮菱菊藤菊流水菖蒲文様紅型木綿袷衣裳		
		色彩ホームページ	・萌葱縮緬地燕藤波模様染縫小袖 ・黄羅紗地竹文縫管迫 ・色絵琴高仙人文鉢 ・名所江戸百景 日本橋通一丁目略図【歌川広重】		
		光村	1	美術って何だろう？	・紬織振袖 暈し段【志村ふくみ】
				見つけた、触れた、ひらめいた！	・平田一色飾 海老
				【特別展示室】風神雷神，自然と人と	・風神・雷神像 ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】
				自然とともにある日本の美	・風神雷神図屏風【尾形光琳】 ・夏秋草図屏風【酒井抱一】 ・風神雷神図屏風【酒井抱一】 ・燕子花図屏風【尾形光琳】 ・向日葵図【鈴木其一】 ・梅樹扇模様帷子
				粘土でつくる	・白地丸文隅切鉢【河井寛次郎】

【美術】

	2・3	感じたことを話し合おう	・阿修羅像
		見方を変えて	・奥の細道句抄絵 田一枚植ゑて立ち去る柳かな【小野竹喬】
		墨の世界を体感しよう	・松林図屏風【長谷川等伯】 ・洛中洛外雨十題 宇治川雷雨【横山大観】 ・久方の【篠田桃紅】
		浮世絵から学ぶ江戸の職人技	・富嶽三十六景 神奈川沖浪裏【葛飾北斎】
		原寸大で鑑賞しよう	・鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】 ・平螺鈿背円鏡
		季節感のある暮らしを楽しむ	・雪模様蒔絵櫛 ・水うちわ 水面に鮎香る【太田勇】
		絵巻物を楽しむ	・鳥獣人物戯画 甲巻（部分） ・鳥獣人物戯画 乙巻（部分） ・石山寺縁起絵巻 第二巻（部分） ・伴大納言絵巻 中巻（部分）
日 文	1	なぜか気になる情景	・門【奥村土牛】
		教科書美術館 花の生命	・奄美の海に蘇鐵とアダン【田中一村】
		使いたくなる焼き物をつくろう	・色絵旅行用急須【富本憲吉】 ・三彩鳥天使水注【河井寛次郎】
		伝統の中の動物たち	・青笹しし踊り装束 ・えんぶり烏帽子
	2・3上	表現の可能性を求めて	・不動明王および二童子立像【円空】
		墨が生み出す豊かな世界	・雲竜図【狩野探幽】 ・虻に双鶏図【伊藤若冲】 ・秋冬山水図 冬景図【雪舟等楊】
		教科書美術館 東へ、西へ…	・源平合戦図屏風 一の谷・屋島合戦図【狩野吉信】 ・富嶽三十六景より 神奈川沖浪裏 凱風快晴【葛飾北斎】 ・江戸名所百景より 亀戸梅屋敷【歌川広重】 ・「魚濫観世音」図【葛飾北斎】 ・紅白梅図屏風【尾形光琳】 ・更衣美人図【喜多川歌麿】 ・鮭【高橋由一】 ・京焼・清水焼の染付汲み出し茶碗
		漫画表現の豊かさ	・鳥獣人物戯画卷（伝 鳥羽僧正） ・北野天神縁起絵巻 第4巻（部分） ・石山寺縁起絵巻 第二巻（部分） ・絵本武蔵鑑【葛飾北斎】
		日本の美意識	・薄浅葱縮緬地杜若八橋模様染縫小袖 ・漆絵梅文椀【松田権六】 ・色絵菊図向付【尾形乾山】 ・吉野龍田図屏風 ・黒楽茶碗 銘 俊寛【長次郎】
	2・3下	教科書美術館「刻まれた祈り」	・薬師如来立像 ・弥勒菩薩半跏思惟像 ・不動明王像 ・雲中供養菩薩像 ・迦楼羅王立像 ・妙法院蓮華王院

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例

	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫	学年	具体例	
			人物を対象とする表現の題材例	原寸大又は見開きで全体を掲載している鑑賞の作品例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。 ○ 「原寸ギャラリー」 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の一部を原寸大の図版で示している。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人の形のおもしろさ」 <ul style="list-style-type: none"> ・すばやい動きのあるポーズを、刷毛を使って描いてみましょう。大きく手を動かし、人の動きの特徴をとらえて表現してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 樹花鳥獣図屏風【伊藤若冲】
		2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人の形に込めたもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・立体の観察では、多方向から見ることで新しい発見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ モナ・リザ【レオナルド・ダ・ヴィンチ】 ○ 桜図【長谷川久蔵】
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。 ○ 「原寸大で鑑賞しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の一部を原寸大の図版で示している。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人のしぐさを捉える」 <ul style="list-style-type: none"> ・短時間でおおまかに形を捉えることをクロッキーという。友達にポーズを取ってもらい、人物クロッキーに挑戦しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火焰型土器 No. 1
		2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「躍動感を捉えて」 <ul style="list-style-type: none"> ・針金を軸にして粘土で肉付けし、動きのある立体像をつくってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 灰色のフェルト帽の自画像【フィンセント・ファン・ゴッホ】 ○ 鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】 ○ 平螺鈿背円鏡
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。 ○ 「教科書美術館」 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の全体又は和紙を使用した原寸大の図版、作品が安置されている場所の写真を4ページの見開きで示している。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「身近な人を見つめて」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのその人らしさがよく現れる表情や顔の向きなどを、よく探してスケッチしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 奄美の海に蘇鉄とアダン【田中一村】
		2・3上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「瞬間の美しさを形に」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちに協力してもらい、表したい動きをスケッチして構想を練ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富嶽三十六景より「神奈川沖浪裏」「凱風快晴」【葛飾北斎】
		2・3下		<ul style="list-style-type: none"> ○ 妙法院蓮華王院 千手観音坐像、千体千手観音像など

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫
方法	生活や社会における美術の働きを示す具体例

		具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちが目にする代表的な書体, 生活の中のおもしろい文字 ○ 竹の文房具, 積み木のおもちゃ ○ 電子レンジ対応の弁当箱, 曲げわっぱの弁当箱, 日本の竹皮の包み, 日本の竹の弁当箱, インドの弁当箱, ブータンの弁当箱 ○ 建具(玄関の扉, ふすま, 障子, 衝立など) ○ 装身具(宝石) ○ 実際に使われている標識やマーク
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図工室の椅子, ケーキ, 草木の作品, ねぶた, 寝台列車「ななつ星」 ○ 掛軸, 扇子, 屏風 ○ パブリック・アート(モエレ沼公園, フィリップ・A・ハート・プラザ, 札幌駅) ○ ボウル(水面をデザイン), パン屋の紙袋, 指に刺さりやすく抜きやすいピン, 階段用手すり, 地下鉄駅の案内表示, ポスター(地球温暖化防止), ピクトグラム, 和菓子のデザイン, 着物のデザイン, 包装紙のデザイン ○ ロゴタイプ(池田20世紀美術館), マーク(国連防災白書), 動物園の案内図 ○ ユニバーサルデザイン(ヘルプマーク) ○ 紙のカテドラル(クライストチャーチ) ○ ランプ ○ 木の種類で音階を奏でる木琴
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスター(横浜マリンタワー), 車椅子(CARNA) ○ 額縁 ○ 箸置き, お菓子のパッケージ ○ 文様(唐草文様他), 食器セット, 包装紙, 手拭い ○ 絵文字(うなぎ屋ののぼり, 百貨店の食品売り場の壁) ○ 水引 ○ 木のスプーン, フォーク, ナイフ, スプーン付き二重サラダボウル, 学校給食用食器 ○ 生活の中の焼き物(花の果物の陶器, 色絵ガラッ鉢, 象の香取線香入れなど) ○ 暮らしの中の手書き文字(江戸手描き提灯, カリグラフィ)
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目覚まし時計, 食器, 駅前広場, 文房具, 鉛筆削り, ステンレス魔法瓶, 机, 椅子, CDジャケット, バスマット, LED懐中電灯など ○ 原宿Tビル工事現場仮囲 ○ シーサー・しゃちほこ ○ パブリックアート(モエレ沼公園, フランス, ボルドーのワイン醸造所など) ○ ステンドグラス(坂戸駅) ○ ポスター ○ 標準案内用図記号, 駅のシンボルマーク ○ はさみ, 定規, ピン, 電子体温計, ユニバーサルデザイン(スプーン), 信号機, 点字ブロック, 誘導ブロック, 階段スロープ ○ 暮らしの中のキャラクター ○ 和菓子 ○ 京扇子, 花器, 着物デザイン, 七夕祭りの笹飾り, 水うちわ, 江戸風鈴など ○ パッケージデザイン(わらで編んだ卵の包, チョコレート, 缶など), 風呂敷 ○ 富山ライトレール ○ スポーツ用義足, キュードラム, 電動乗用一輪車
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポリエチレンの袋, 布の買い物袋, 竹編みの手さげかご, 菓子を入れる紙の箱, 電子体温計, 幼児用食器, 大阪市営地下鉄の路線案内サイン, スプーン ○ 自然物をあしらった生地, 表紙のデザイン, 箸袋, ブックカバー, ネクタイのデザインなど ○ 駅名標, のれん, 皿, 絵文字など ○ マーク(オリンピック, 世界自然保護基金(WWF), 職業訓練を提供する団体), マンホールのふたのデザインなど ○ 紙のコスター ○ 花入り封筒, メッセージカード ○ 旅行用急須, マグカップ, 花器, 容器など ○ 漆器, 木製スプーン, ナイフ, 箸・箸置き ○ 水族館, ヨーヨー, 歯ブラシ, フルーツの盛り合わせ, 神戸ルミナリエ
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 茶器, 茶碗, ティーカップ ○ 水引, 着物, 和菓子, ちまき, 箸の装飾など ○ 扇子, 掛軸, 正月飾り, 茶室 ○ ピクトグラム(非常口, 津波避難警告標識, ワシントン国立動物園の案内地図と動物など) ○ 新聞広告, 本の表紙, ブックカバー, 宣伝用ポップ ○ ほ乳瓶, フォーク, ペットボトル, 握りやすい傘, マウス型のカッター, シャンプーとリンスの容器, 扇風機, 波形の手すりなど ○ 椅子(アロンチェア, ウルムスツール, トートネットロッキングチェア, ポニーなど) ○ 文具立て, ペンケース, キーホルダーなど ○ パブリックアート(モエレ沼公園, さいたま新都心ふれあいモール, 新潟県スポーツ公園, 広島空港, 万博公園など)
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未来の車のスケッチ, ティーポットなど ○ パッケージデザイン(飴, 梅, 包装紙) ○ LEDを使用した光のイルミネーション(東京ミッドタウン) ○ 水飲み場の壁画の装飾, 病院の待合室・病院の外観と小児病棟 ○ ショール, ストール ○ 壁掛け時計, ブックシェルフ, チェア ○ 設え(表門, 笹垣, 穂垣) ○ Qドラム

【美術】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥題材や資料等の配列
方法	題材数及び構成や配列

	学年	題材等の数	構成や配列				配列の仕方
			項目別の題材等の数				
			A表現 (1)	A表現 (2)	A表現 (3)	B鑑賞 (1)	
開隆堂	1	19	7	4	15	4	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「ガイダンスや資料的な内容」
	2・3	29	9	8	18	11	
光村	1	27	6	5	20	7	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「はじめに」 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「学習を支える資料」
	2・3	40	14	10	33	11	
日文	1	30	7	7	23	7	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「オリエンテーション」 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「学習に役立つ資料」
	2・3上	26	6	5	17	9	
	2・3下	30	6	6	18	12	

※1つの題材で複数の項目を示している題材もある。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦掲載している作品等の数
方法	サイズを明記している参考作品の数

	学年	サイズを明記している作品の数	計
開隆堂	1	168	473
	2・3	305	
光村	1	178	456
	2・3	278	
日文	1	171	469
	2・3上	164	
	2・3下	134	

【美術】

観点		(エ) 内容の表現・表記	
視点		⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載	
方法		折り込みページの内容及び大型図版	
	学年	折り込みページの内容	大型図版 ※作品の一部を表示したものを除く
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンス ・「美術って、何だろう？」 ・「集める・試す・組み立てる」 ○ 絵や彫刻など ・「心ひかれる風景」 ○ 資料的な内容 ・「道具箱」 ・「色彩ホームページ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラヤんの空飛ぶ方舟大作戦【ヤノベケンジ】 ・柳のある明るい朝【クロード・モネ】
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンス ・「他人と違うこと、他人と同じであること」 ○ 資料的な内容 ・「生きることと美術」 ・「ゲルニカ」 ・「人の表現から見る美術の歴史」 	<ul style="list-style-type: none"> ・幻の華【草間彌生】 ・群青富士（右隻）【横山大観】 ・最後の晚餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】 ・彫刻プロジェクト「アメリカン・フィールド」【アントニー・ゴームリー】 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに ・「感じたことを話し合おう」 ・「美術って何だろう？」 ○ 絵や彫刻など ・特別展示室「風神雷神，自然と人と」 ○ 学習を支える資料 ・色と光の特徴を知ろう ・形と材料の特徴を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生【マルク・シャガール】 ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに ・「感じたことを話し合おう」 ・「朝起きてから夜眠るまでの美術」 ○ 絵や彫刻など ・特別展示室「ゲルニカ，明日への願い」 ○ 学習を支える資料 ・「美術史年表」 ・「絵巻物を楽しむ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・記憶の固執【サルヴァドール・ダリ】 ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 ・1946年の冬【アンドリュウ・ワイエス】
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ・「出会って広げよう」 ・「図画工作，そして…美術へ」 ○ 絵や彫刻など ・教科書美術館「花の生命」 ○ 学習に役立つ資料 ・「色の広がり，色の魅力」 ・「モダンテクニック」 	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美の海に蘇鉄とアダン【田中一村】
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ・「学びを深めよう」 ・「表現の可能性を求めて」 ○ 絵や彫刻など ・教科書美術館「東へ，西へ…」 ○ 学習に役立つ資料 ・「日本美術の展開と世界との交流」 ・「現代に受けつがれる浮世絵版画」 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の晚餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】 ・神奈川沖浪裏【葛飾北斎】 ・凱風快晴【葛飾北斎】
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション ・「美を探し求めて」 ・「夢をかたちにするデザイン」 ○ 絵や彫刻など ・教科書美術館「刻まれた祈り」 ○ デザインや工芸など ・「自然を愛でる空間」 ○ 学習に役立つ資料 ・「アートを体験する場に出かけよう」 ・「写真撮影の第一歩」 ・「コンピュータ・グラフィックスの表現」 ・「アニメーションの表現」 ・「石を彫る」 ・「織る」 ・「仏像の種類」 ・「近代の建築」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】 ・春が舞う【中井精也】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨言語を用いた発想・構想の工夫
方法	発想・構想段階における言語活動の示し方及び具体例

	発想・構想段階における言語活動の示し方	言語活動が示されている題材における具体例
開隆堂	○ 構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。	○ 題材名「材料を生かして」(第1学年) ・何をつくろうかな。 ・どこで使おうかな。 ・だれが使うものをつくろうかな。 ・どんな形が使いやすいかな。
	○ 発想のヒントになる言葉の例を複数示し、発想の仕方を例示している。	○ 題材名「空想からの表現」(第2・3学年) ・いろいろな言葉を集めてみよう。 ・言葉を選んで組み合わせよう。 ・興味や関心を大切に、言葉を組み合わせ物語を考えよう。
	○ 個人やグループで発想や構想しているプロセスを写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「デザインで伝える」(第2・3学年) ・マインドマップ ・ブレインストーミング
光村	○ 主題を生み出すためのワークシートの記述例を示している。	○ 題材名「文様、飾りの小宇宙」(第1学年) ・竹のように高く元気に成長してもらいたいという願いがこめられている。また、ささの葉には、殺きん作用があるので、病気にならないようにという願いもこめられている。
	○ メモや言葉から発想を広げる事例を写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「形と色の挑戦」(第2・3学年) ・言葉や文章のイメージを、形や色、材料に置き換えてみよう。同じテーマでつくった友達の作品と見比べてもおもしろいだろう。
	○ 個人やグループで発想や構想している場面を複数の写真とともに示している。	○ 題材名「メッセージを伝えるポスター」(第2・3学年) ・環境問題について話し合う。「環境汚染によって、自然が失われ、生き物の命が犠牲になっていることを私は伝えたい。」
日文	○ 構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。	○ 題材名「心に残ったできごと」(第1学年) ・心に残っている景色や場面を思い出して、作品のアイデアを練ろう。 ・部活の時… ・家族旅行で見た景色… ・友だちと遊んだところ…
	○ 個人やグループで発想や構想している場面を写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「情報をわかりやすく伝えよう」(第2・3学年) ・校内のサイン計画をする時、校内をリサーチしたり、アイデアスケッチをもとに意見を出し合ったりしながら、多くの人に伝えるための構想を練ろう。
	○ 作品の企画書をまとめるプロセスを複数の写真とともに示している。	○ 題材名「魅力が伝わるパッケージ」(第2・3学年) ・グループでデザインを説明し合い、絵の具やコンピュータで表現する。 ・店や商品の特徴を理解し、形・色・模様アイデアをまとめ、文案を考える。

【美術】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩鑑賞の仕方の工夫
方法	鑑賞の方法の示し方及び具体例

	鑑賞の方法の示し方	言語活動が示されている題材における具体例
開 隆 堂	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「美しさの交流」(第1学年) ・ 作品紹介カード ・ 私たちは廊下に展示された2年生の絵画作品を鑑賞し、作品と題名から受けた印象を言葉にして、作品紹介カードにしました。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「環境と響き合う形」(第2・3学年) ・ 作品のある場所や大きさを考え、感じたことを話し合ってみましょう。 ○ 題材名「デザインする心」(第2・3学年) ・ 形や色彩、構成を手がかりに、日本らしさとは何かについて話し合ってみましょう。
光 村	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「自然とともにある日本の美」(第1学年) ・ 鑑賞レポート ・ 身の回りで自然や季節の美を取り入れているものを写真に撮って集め、特徴を話し合い、レポートにまとめた。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「灰色のフェルト帽の自画像」(第2・3学年) ・ ゴッホは補色の対比を用いた作品を数多く描いた。画集から他の作品を探し、色の使い方からどんな印象を受けるか話し合おう。 ○ 題材名「ゲルニカ、明日への願い」(第2・3学年) ・ 「ゲルニカ」を描いたピカソにとって、生きるとはどのようなことだったのだろうか。作品を見て感じ取ったことをみんなで話し合ってみよう。
日 文	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「鑑賞との出会い」(第1学年) ・ 展覧会見学レポート ・ お気に入りの作品が見つかったら、それについて調べましょう。そして、鑑賞して感じたことや調べてわかったことをまとめましょう。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「名画の魅力に迫る」(第2・3学年) ・ 作品の構図、遠近や明暗の表現、人物の動きや表情などに着目し、思ったことや考えたことについて話し合みましょう。 ○ 題材名「刻まれた祈り」(第2・3学年) ・ それぞれの仏像の種類とのかかわりも考え、細部の表現と全体から受けるイメージの鑑賞を行き来し、込められた思いについて考えたことを話し合みましょう。